

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

リスク投資の地合改善で修正高

NY原油先物相場は、1バレル=70~73ドル水準をコアに底固く推移した。米地方銀行の経営不安に続いて米連邦債務上限問題を背景としたリスクオフ圧力が上値を圧迫していたが、リスク投資の地合改善を受けて押し目買い優勢の展開になった。与野党協議で債務上限問題の先行きに対して楽観的な見方が優勢になったことが、投資家のリスク選好性を高めた。原油需給よりも投資家のリスク選好性が重視される金融相場と化す中、株価の底固さが原油相場の底固さにも直結した。ただし、為替がドル高に振れたことで、大きな値動きには発展しなかった。

米エネルギー省 (DOE) は8月に戦略石油備蓄 (SPR) 向けに原油300万バレルの搬入を行う入札を発表した。4~6月期は議会から2,600万バレルの売却が義務付けられているが、それが終了した後に購入を行う計画になる。DOEは更に追加購入を行う意向も示している。米政府は67~72ドルかそれ以下ではSPR向けに原油を買い戻す方針を示している。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (5月12日時点) は、原油が前週比504万バレル増、ガソリンが138万バレル減、石油精製品が8万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

リスク投資の地合改善だと、70ドル水準で下値固める展開

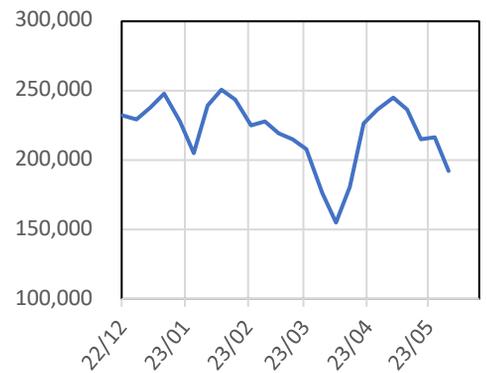
リスク投資の地合に強く左右される展開になっている。リスクオンだと買い、リスクオフだと売りの金融相場と化しているため、特に株価動向が注目される。米債務上限問題の一般感が維持されると、原油相場も70ドル割れから値を崩す必要性が薄れ、値固めから修正高の目線に回帰しよう。

国際エネルギー機関（IEA）は、原油相場の低迷が続いている一方で、年後半の国際原油需給は日量200万バレル規模の供給不足になるとの見通しを示した。先進国の石油需要は伸び悩むが、中国などの需要は想定以上に強く、2023年は前年比で220万バレルの需要拡大が想定されている。一方、石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産によって、非OPECプラスの増産でも供給不足が発生するとの見通しになる。こうしたマクロ需給見通しが重視されると、下値が固まり易くなる。

また、米国では5月29日のメモリアル・デーを境に本格的なドライブシーズンに突入する。今季の米ガソリン在庫は過去5年レンジを下回っており、タイト感が強い。需要期入りを先取りする形でガソリン相場高が進むと、原油相場も上振れリスクが高まろう。特にガソリン在庫の取り崩しが更に進むと、石油相場全体の下値が固まり易くなる。

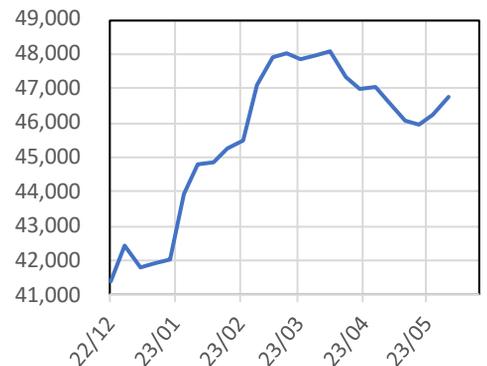
一方、世界経済の減速に対しては根強い警戒感が残されている。各国経済指標で景気減速懸念が改めて警戒され、特に株価が大きく値を崩すと、原油相場も軟化し易くなる。米債務上限問題もまだ完全には解決していないことに注意が必要だろう。また、為替市場ではドル高圧力が強くなっているが、更にドル高が進行すると、ドル建て原油相場は軟化するリスクが高まる。5月24日の米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨（5月2～3日開催分）がイベントリスクになろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



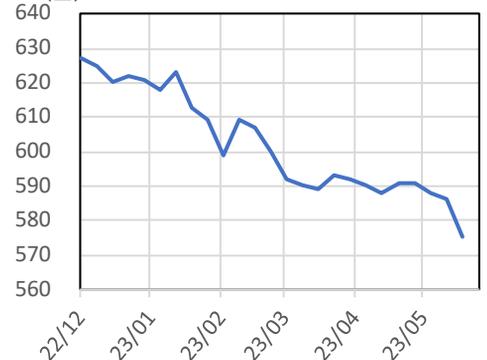
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

